



撮影：岡本早智雄 議員

## 〈安来市議会の動き〉

### ● 令和2年12月定例会議

令和2年12月定例会議は、12月1日から15日の15日間を会期に開催され、23件の議案（内同意案件1件、報告案件2件）および1件の陳情について審議を行いました。また各常任委員会委員で市内各所の現地視察を行いました。

### ● やすぎ未来トーク

11月29日（日）安来市伯太町上十年畑の常盤公民館において、やすぎ未来トークを行いました。

## 主な掲載内容

◆ 本会議で審議された議案等	P 2
◆ 各委員会委員長報告要旨	P 3 ~ P 4
◆ 一般質問	P 5 ~ P 10
◆ やすぎ未来トーク報告	P 11
◆ 委員会現地視察報告	P 12

## 令和2年12月定例会議（12月1日～15日）議案等の審議結果

### ■賛否の分かれた議案

賛成…○、反対…×、欠席…欠、除斥…斥、退席…退、棄権…棄

提出者	番 号	件 名	議決結果	議席番号																			
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	21
市 長	議第4号	令和2年度安来市一般会計補正予算（第8号）	原案可決	福井加代子	岡本早智雄	原瀬清正	飯橋由久	岩崎勉	三島静夫	向田聡	澤田秀夫	佐々木厚子	丸山征司	樋野智之	原田貴与子	石倉刻夷	中村健二	足立喜信	永田巳好	金山満輝	佐伯直行	遠藤孝	葉田茂美
	議第14号	安来市職員の給与に関する条例及び安来市病院事業管理者の給与等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第15号	安来市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第16号	令和2年度安来市一般会計補正予算（第9号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第17号	令和2年度安来市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第18号	令和2年度安来市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
	議第19号	令和2年度安来市生活排水処理事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○

※議員定数21人 議長は採決に加わらない

### ■全会一致で可決、認定等した議案

提出者	番 号	件 名	提出者	番 号	件 名
市 長	議第1号	安来市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	市長	議第9号	令和2年度安来市生活排水処理事業特別会計補正予算（第2号）
	議第2号	安来市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例制定について		議第10号	令和2年度安来市水道事業会計補正予算（第2号）
	議第3号	安来市介護保険条例の一部を改正する条例制定について		議第11号	令和2年度安来市下水道事業会計補正予算（第2号）
	議第5号	令和2年度安来市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	議員	議第12号	安来市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について
	議第6号	令和2年度安来市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）	市長	議第13号	安来市長、副市長及び教育長の諸給与条例の一部を改正する条例制定について
	議第7号	令和2年度安来市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）		議第20号	令和2年度安来市一般会計補正予算（第10号）
	議第8号	令和2年度安来市電気事業特別会計補正予算（第2号）		同第3号	安来市副市長の選任について

### ■報告事項

番 号	件 名	番 号	件 名
報第2号	議会の委任による専決処分の報告について	報第3号	議会の委任による専決処分の報告について

### ■請願・陳情審議結果

番 号	件 名	付託委員会	委員会結果	本会議結果
陳情第1号	「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書	総務企画	不採択	不採択

# 12月定例会議 常任委員会委員長報告要旨

## 総務企画委員会

委員長 足立喜信

12月1日

陳情第1号「『最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書』の採択を求める陳情書」については、委員から「最低賃金1,500円以上をめざすこと、全国一律最低賃金制度に改正すること、最低賃金の引き上げができ、経営が継続できるように、中小企業への支援策を最大限拡充し、国民の生命とくらしを守ること、という意見書の趣旨に賛成する」という意見があった一方で、「最低賃金について、確かに島根県は低いランクではあるが、これを一律1,500円に上げた場合、ほとんどの中小企業は倒産すると思う。まず一番には中小企業への支援を行い、その後、許す限り、最低賃金を上げるようにすべき」という意見や、「最低賃金が払えないところは国が負担すると言われるが、どこから

財源を確保するのか不明である」といった意見があった。採決の結果、賛成少数により不採択とすべきものと決した。

12月15日

議第1号「安来市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について」は、執行部から「この条例改正は、地方税法施行令の一部を改正する政令が、令和2年9月4日に公布され、国民健康保険税部分については、令和3年1月1日から施行されることになったことに伴うものであり、軽減判定所得基準を、現行の33万円から、43万円に引き上げることが主な改正部分であること、また、今回の条例改正による影響について、年金所得世帯では影響はないが、個人事業主並びに専業農家の世帯では、軽減対象世帯が増える可能性があると考えているが、具体的な対象世帯数や影響額は、現段階のところでは把握できない」との説明があった。委員からは、改正内容についての確認などがありましたが、特に異論は

なく、全会一致で執行部提出原案のとおり可決すべきものと決した。

## 文教福祉委員会

委員長 三島静夫

議第2号

「安来市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例制定について」議第3号「安来市介護保険条例の一部を改正する条例制定について」は、議第2号について、委員の「『平均貸付割合』の『平均』とは何か」との確認に対し執行部から「短期貸付割合の毎月の貸付を合計して12で割ったものである」との説明があった。また「その『短期貸付』は銀行等の金融機関からの貸付のことか」との質問に対し執行部から「その通りである」との回答があった。その他、議第2号、議第3号ともに委員より、用語や条項の整理による改正であり、内容に変わりが無いことの確認や文言についての確認はあったが、特に異論はなく採決の結果、いずれも全会一致で執行部提出原案通り可決すべきものと決した。

## 予算決算委員会

委員長 佐々木厚子

議第4号

「令和2年度安来市一般会計補正予算(第8号)」の2款総務費の中の「企業版ふるさと納税推進事業」について、委員より「この事業に賛同され、寄附された企業に対して、一般のふるさと納税のように返礼品等はあるのか。また、市税に対する影響はあるのか」との質問に対し、執行部からは「返礼品等は一切ないが、国の方で税制上の優遇措置が創設されている。この制度を使える企業は、市外に本店があること、見返りを貰わないこと、となっており、税収には影響がないものと考えている」との答弁があった。また、「事業内容の広報についてSNS等とあるが、具体的にはどうか」との質問に対し、執行部からは、「ホームページはもちろん、フェイスブック、ツイッター等を活用し、情報を拡散していきたい」との答弁があった。また「特定地域づくり事業」について、委員より、「派遣という仕事

は、非常に細切れであり、しかも流動的になるのではないかという懸念がある。今の状況の中で進めることは、地域づくりや労働者定着には検討が不十分ではないか」との質問に対し、執行部からは「協同組合が雇

用し、隙間がないように年間を通じて事業プランを組んでいくこととなる。仕事内容を説明した上で採用するため、そういった心配は解消できると考えている。また、これまでの派遣会社と同じではなく、国・県・市の裏付けによる就労があるからこの事業である。関係組織と調整しながら進めていくので、ご理解いただきたい」との答弁があった。さらに「県内他市町村の状況はどうか」との質問に対し、執行部からは、「10月末時点で、本市を含めて8市町村が今年度中の組合設立を検討している状況である」との答弁があった。

3 款民生費の「放課後児童健全育成事業」について、委員より「赤江と十神第2クラブは、施設整備を行っても、1年から6年まで受け入れる規模にはなっていないか」との質問に対し、執行部からは「床面積が

1人当たり1.65平米必要だというルールがあり、6年まで預かれる規模の施設ではない」との答弁があった。

12 款公債費の「市債繰上償還」について、委員より「今まで決算剰余金が出ても財政調整基金に積み立てを行っていない状況である。あつてはいけないことだが、新型コロナウイルス感染症が、安来市で大発生した場合を想定し、2億1,700万円余の臨時交付金の未計上があるとはいえ、少なくとも一般財源の1億6,300万円余を、財政調整基金に積み立ててもよいと考えるがどうか」との質問に対し、執行部からは、「地方財政法では、繰越金の2分の1相当は、積み立てるか繰上償還をしなければならぬという規定がある。今後はその2分の1を目標に、積み立て、あるいは繰上償還を行う、そういったことを目標として取り組んでいきたいと考えている。今回については、将来の負担の軽減にもなるという判断により繰上償還の方に活用させていただきたい」との答弁であった。また「合併特例債であることから、繰上償還することによつ

て交付税措置はどうか」との質問に対し、執行部からは、「合併特例債は実額償還であるが、繰上償還を実施しても一括して交付税措置がされるものではなく、当初の返済が計画通り行われるものとして年次の交付税措置されるものであり、特に影響はない」との答弁であった。

「議第5号」から「議第11号」及び「議第16号」から「議第19号」については、委員からは確認事項があったのみで、特に質疑・意見等はなかった。

採決においては「議第5号」「議第6号」「議第7号」「議第8号」「議第9号」「議第10号」「議第11号」の7件は全会一致で執行部提出原案の通り可決すべきものと決した。幾つかの異議、反対である旨の発言があった「議第4号」「議第16号」「議第17号」「議第18号」「議第19号」の5件は賛成多数により執行部提出原案の通り可決すべきものと決した。

今回の補正予算においては、財政健全化に向けた取り組みもみられた。安来市の将来を見据えた持続可能な行政運営に留意し、市民福祉の向上に努められるよう要請する。



第99回安来市議会定例会12月定例会議一般質問要旨



創 誠  
三島 静夫

市立病院について

**質問** 選挙前のテレビ討論会で市立病院を改修すると言っておられたが、総合的に判断してどうするか考えていきたいということに変わったかという認識でよかったか。

**答弁** 今後の市立病院の在り方については、調査研究中であることを踏まえれば、総合的に判断をするのが妥当と思っている。

**質問** マニフェストに介護医療院を新設とあったが、場合によってはされないということではなかったか。

**答弁** 新設はする考えであるが、従前からの調査が行われている途中であり、先を読んだことを申し上げるよりも、本当に今、何が必要なのかを調査をしてから進めたいと思っている。

**質問** 介護医療院の病床が20、30床でないということになると、市立

病院の一般病床が大きく減少するが、救急に対応できるのか。  
**答弁** 今、安来では救急告示が2病院になったので、今後、地域の医療連携ということを考えていかなければならない。

**質問** 経営体制の見直しということとは、経営者の見直しとなると考えるが、地方公営企業法の全部適用になつている市立病院を一部適用にして市長がマネジメントすることだと思つたが、そうなのか。

**答弁** 全部適用で今までやってこようとしたことがやれなかったことでもあると思う。それは、行政側ではなくて病院側がという意味である。病院長が何を考えておられるのか、何ができたのか、精査をしなければ、今後の経営体制の見直しはできないと思つている。

**質問** 病院経営は全部適用のままこれから進めていくという考え方でよかったか。

**答弁** 病院の事務体制は、一般行政職員の出向で賄っているが、それでよかったかどうか判断しなければならぬ。私の考えとしては外部からの事務職員の登用を検討しなければならぬと考えている。



令和クラブ  
石倉 刻夷

令和三年度

予算編成方針について

**質問** 令和3年度の予算編成方針について、市長から特別な指示があったか伺う。また、予算編成方針の基本的な考えを改めて伺う。

**答弁** 各部署が要求した内容に、編成過程において、市長の考えを反映させる。尚、施策の方向性など、個別具体的な内容は指示されていない。

**質問** 休止状態の新工業団地の計画についてどのような考えか伺う。

**答弁** 工業団地事業再開については、事業に要する財源の確保、中期財政計画への影響等を考慮する必要もある。コロナ感染症の影響下で経済も不透明であり、今後、総合的に判断を行う必要があると考える。

**質問** 市立病院のあり方について、広瀬町自治会協議会から要望のあった、現在地での医療体制の継続と14の診療科の継続に対する市長の見解と酒田市病院機構視察の目的について伺う。

**答弁** 中山間地域における自治体病院の果たす役割は重要である。広瀬地域で医療を提供すべきと考えており、今後の医療体制については、市の将来の医療需要を見通した上で、必要な診療機能や規模を検討し、総合的に判断したいと考えている。

酒田市病院機構日本海総合病院は、北庄内地域での、医療、介護事業の経営を持続可能にするために、地域全体で課題解決を図る仕組みを常に検討されており、安来市でもこれから特に必要となる医療連携体制の構築を図る上で非常に参考になった。

**質問** 中山間地対策の中で、中山間地域総合整備事業の進捗状況と見通しについて伺う。

**答弁** 一日でも早い完成を目指すため、これまでの交付金事業から本年度新設された中山間地域農業農村総合整備事業の補助事業に移行した。現在ヒアリング中で、予定では来年度新規採択で、県営事業で実施設計を行う計画である。(圃場整備12団地、暗排3団地等)

その他の質問事項

○ 森林環境譲与税の使途に係わる基本方針について  
○ 「山中鹿介」大河ドラマ放映について



政進クラブ  
飯橋 由久

### 安来市立病院の再生について

**質問** 新病院建設について、市長の考えとして新病院の移転建設は行わない。現地の市立病院を改修し、中山間地域の医療の核として継続をしてきたいとの考えに変更はないのか改めて伺う。

**答弁** 従来は移転、新築という方向で行政が向かっていったが、市民の皆さんがこれからも安心して暮らし続けられるように、中山間地域の医療は確保しなければならぬと特に考えている。広瀬地域の医療の継続性を担保するために、広瀬地域における医療の核として病院は必要であると考えている。現在の市立病院の経営状態や市の財政状況を鑑み、現状の市立病院の医療資源を活用しながら地域医療を守る方法を検討した上で、総合的に判断したいと思っている。

### コロナ禍における

#### 中小企業者支援について

**質問** 商業、サービス業、感染症対応支援事業について。補助対象の製品がメーカー欠品により入荷がでない状況に陥っているケースがある。年内入荷が出来ないような不測の事態が発生した場合、この事業交付に対する支援について伺う。

**答弁** 鳥根県は、このことが原因で完了が遅れるケースに限り実績報告の期限を令和3年1月31日まで延長したため、安来市も同様の対応を取ることで、未完了の事業者には文書郵送による周知をして、漏れなく支援できるように努めていく。

**質問** 安来市中小企業者等事業継続支援給付金について。持続化給付金受給事業所が多いため、この事業の申請が少ないことから、事業予算が大幅に残った場合どうされるのか伺う。

**答弁** コロナ禍の収束が見通せない中、今後も市内の情勢と国、県の動向に注視しながら示された限度額を有効に活用するために、追加の経済対策、また新たな施策について、年度内の補正予算編成も視野に入れながら対応する必要があると考えている。



市民クラブ  
澤田 秀夫

### 新市長に行財政改革の

#### 考えを問う

**質問** 今後どのような改革や事業の見直しに着手するのか伺う。

**答弁** 今年度はサマーレビューの実施や令和3年度から5年間の公債費負担を軽減するための繰上償還など、財政構造を少しずつではあるが、変えていくことにより収支の改善を図る取り組みを進めており、今後もしっかりと実行していく考えである。

**質問** 令和3年度の予算編成においても、新型コロナウイルス感染症の影響下ではあるが、行財政改革を最重要課題として、あらゆる項目において取り組む考えである。

**質問** 令和3年度に向けて部局や新しい課の新設や再編などの考えを伺う。

**答弁** 本定例会議の全日程終了後、令和3年度へ向けて各部署における組織のあり方について、部長ヒアリングを実施したうえで決定していく予定である。

**質問** 公共施設等総合管理計画の個別計画の見直しの考えを伺う。

**答弁** 概ね3年以内に今後のあり方を検討するとしていたA区分判定の施設を中心に、現状を踏まえ区分の見直しを行う必要があると考えている。

**質問** 見直しをして公表される時期を伺う。

**答弁** 令和3年度の遅くとも12月までには見直し後の方向性を示したいと考えている。

**質問** 現段階で基金の統廃合の考え方を伺う。

**答弁** 今後の財政計画やその進捗状況に応じて検討し、実行していく必要があると考えている。

**質問** 市民に本来の財政状況を伝える「財政非常事態宣言」を出すことについての考えを伺う。

**答弁** 財政状況は依然厳しい状況である事には変わりはないが、現在、様々な行財政改革の取り組みを進めており、今すぐに「財政非常事態宣言」を出す状況にはないと考えている。

今後も市ホームページや出前講座、どじょつこテレビなど様々なメディアを通して、財政状況のみならず市政全般の情報を市民の皆様にお伝えしていきたいと考えている。



公明党  
佐々木厚子

### 田中市長に 今後の市政運営について伺う

**質問** 市長は、まず取り組まなければならないのは財政健全化、行財政改革であるといわれている。そのため、現在安来市が行っている3つの庁舎の分庁方式での業務体制の見直しは財政健全化の上から行う必要があると考える。また、今が部署の配置転換を含めた今後の庁舎の在り方を見直す大きなチャンスだと思う。まず、広瀬庁舎は今後どのようにする考えか伺う。

**答弁** 広瀬庁舎は老朽化が著しく、計画では時期未定で建て替えの方針としているが、今後は、中長期的な財政見直し、広瀬地域のまちづくりのあり方など総合的に判断する必要がある。広瀬庁舎に配置している部署は、今後段階的に他の庁舎などに再配置し、その後の対応については検討していく。

**質問** 市長は、今の分庁方式についてどう考えているのか。また、総合庁舎に転換していく考えはないか伺う。

**答弁** 広瀬・伯太の分庁舎は地域に根ざし、地域の特性を活かしたまちづくりの中心拠点であると共に、災害時の対策拠点としても位置づけてきた。その一方で、老朽化に伴う改修費や維持管理費の増も懸念される。今後は、部署再配置について必要な機能を残しつつ、財政的な見直しも踏まえ総合的に進めていかなければならないと考えている。

**質問** 安来市は、市内の児童・生徒数が減少しているなか、学校の統廃合についてほとんど議論されてきていない。市長は小・中学校の統廃合についてはどのように考えているのか伺う。

**答弁** 学校教育においては児童生徒が集団のなかで切磋琢磨すること、資質や能力をのびすことが重要と考える。一方で、学校施設は教育のみならず、地域コミュニティの役割も担っている。学校配置の適正化については多角的に時間をかけて議論を進めていくことが重要と考える。そのために専門に検討する委員会を立ち上げることからスタートしていく。

### 島根原発

#### 安来市の今後の対応について



令和クラブ  
金山 満輝

**質問** 好む、好まないに関わらず島根原子力発電所は県民、市民が認識せざるをえない課題でもあり、田中市政のもとで政策がどのように引き継がれて行くのか、安来市の今後の方向性について伺う。

**答弁** 現状では、原子力発電にある程度は頼らざるを得ない状況だと考えている。今後、再生可能エネルギーの技術開発が進むことにより、原子力発電への依存度がどんどん下がっていくものと期待しており、その時々々の現状に合わせた発電方法で安定的な電力を賄うことが非常に大切である。

**質問** 安来市は、中国電力に対し、稼働の事前同意なども含む立地自治体と同様の安全協定締結を求めているが、その後の進捗について伺う。

**答弁** 平成30年7月に立地自治体

と同様の安全協定締結について申し入れを行って以降、機会ある毎に進捗状況を確認しているが、まだ締結には至っていない。協定締結については、引き続き安来市、出雲市、雲南市の3市で連携し対応していく。

### 竹島をめぐる

#### 日韓の交流について

**質問** 日本と韓国、安来市と密陽市の間の未来志向の真の友好関係を確立するためには、竹島は我が固有の領土であると主張することが大事であると考えがいかがか。

**答弁** 竹島は我が固有の領土である。このことを基本に、交流をしていかなければならないと考えるが、近年、日韓関係の情勢が思わしくなく、交流事業を見合わせるなどの影響が出ている。今後、将来の世代を考えたとき、国の外交関係に左右されない民間や経済的な結びつきが未来志向の友好関係につながるもの、信じている。国と国との問題は言うべきことを言うのは基本であるが、友好都市の交流で言いたいことを言い合っていれば友好にはつながらない。その時々々の状況に合わせた判断をしたいと考える。



市民クラブ  
岡本早智雄

### 新工業団地整備事業について

**質問** 令和2年3月定例会議において、この事業は事実上休止状態となっている。これまでの本事業における事業内容と事業費合計額を伺う。

**答弁** 平成29年度に適地選定調査から始まり、平成30年度から令和元年度にかけ測量調査設計、用地測量、埋蔵文化財調査等を行って、これまで要した事業費合計は1億5,600万円余りになっている。

**質問** 新市長になられたので、改めて工業団地の必要性について見解を伺う。

**答弁** 市の総合戦略に掲げる雇用の場の確保・拡大を考える上で、企業誘致の推進や既存企業の事業拡大は、大変重要になると考えている。誘致活動を行う上で施設用地の確保は必須なので、新たな工業団地整備による用地確保が必要になると考えていく。

**質問** 先ほどの答弁を踏まえて、今後の本事業への取組をどうしていくのか、市の考え方を伺う。

**答弁** 新工業団地整備の今後の考え方は、事業に要する財源の確保、そして中期財政計画への影響等を考慮する必要がある。加えて、新型コロナウイルス感染症の影響により経済も不透明な状況であることから、これらを踏まえながら安田地区での新工業団地整備事業の再開時期を探っていく考えである。

**質問** いろいろな法改正等も含め、状況も踏まえながら再度しっかりと計画を検討し、当該地域が活きてくる事業計画に見直すべきではないかと考えているが、市の見解を伺う。

**答弁** 工業団地の整備による地域振興等への波及効果は当然期待をしている。今後、工業団地整備事業の再開時期等を検討していく中では、単に工業団地整備だけではなく、他の地域振興施策との連携も模索していく必要があると考えている。現在の開発計画を活かしつつ、地域の意見や変化する情勢も反映しながら、ソフト、ハード両面での一体的な地域振興計画へと見直し、伯太地区の振興にもつながるものとなるよう努める。



政進クラブ  
福井加代子

### 将来の切川バイパス周辺の考え方について

#### 考え方について

**質問** アルテピアから国道9号に繋がる切川バイパス飯島線の全線開通、拡幅工事の完成は令和6年度末と聞いているが、プラーナ周辺に新しい町ができたように、切川バイパス周辺についても、安来市の考え方によって、新しい町ができ、商業開発などにより人口増となり、地域の活性化が見込めると思うが、市長の考えを伺う。またもし切川バイパス沿いに新しいまちづくりを検討されているのであれば早急に具体的計画を立て、地域の活性化を進めていただきたいと思うが、所見を伺う。

**答弁** 切川バイパス沿いは都市計画マスタープランの中で将来市街地と位置づけているが、現況は市街地調整区域内農地である。都市計画法、農業振興地域の整備に関する法律、農地法、それぞれクリアしなければならぬ法律がある。どのような土地利用が可能であるか、現在精査を

している。法律的に開発可能な見通しが立てば、速やかに地域の方とまちづくりについて話し合い、地域活性化に取り組みたい。

### 安来市の女性活躍について

**質問** 男女共同参画計画の面から、管理職や各審議会等の女性の登用について、市長としてどのように考えているのか所見を伺う。

**答弁** 第4次安来市男女共同参画計画の中で、男性も女性もあらゆる分野で活躍できる社会の実現を基本目標と掲げ、政策方針決定過程への男女共同参画の推進に取り組んでいる。そのためにも、まずは審議会等への女性の登用を積極的に進めていきたい。

**質問** 県内8市の中で、男女共同参画の専門部署の設置、また専任の職員の配置がなされていないのは、安来市を含む2市のみである。このような現状をどのように考えているのか伺う。

**答弁** 職員配置については、単純に他市と比較できるものではないと考えている。他市の状況も踏まえた検討は必要であるが、まずは女性の参画率の向上に、積極的に取り組んで行く。



市民クラブ  
原瀬 清正

### 定住施策について

**質問** 安来市における定住促進支援としての助成金制度は、現在どのようなものがあるのか伺う。

**答弁** 民間賃貸住宅に居住するUIターン者、新婚者を対象に家賃の一部を助成している。基本となる助成金額は月1万円、助成対象期間は3年である。今年度から助成額を一部見直し、空き家バンク登録物件の入居者には引き続き月5千円、新婚世帯には月1万円、子育て世帯には2人までを上限に一人あたり5千円をそれぞれ上乘せしている。また、市内の県立高校に通学するために市外から転入した高校生も対象に追加した。

**質問** 民間賃貸住宅家賃助成事業の検証は行われたのか、行われているならばその成果について伺う。検証されてなければ今後どのように検証を進められるのか伺う。

**答弁** 今年度11月末までの利用者は、新規申請者が34名、継続申請者が90名である。現時点では家賃助成終了後の居住地についての追跡調査は行っていないが、年度末には助成金の対象者に任意のアンケートを実施する予定としており、本制度がどの程度安来市へ移住・定住することに寄与しているか、また、助成制度終了後の居住意向などについて質問を行い成果を検証したい。

**質問** 若者の定住促進と地元事業者支援、そして地域経済の活性化のためにも住宅購入の際には、市内に本社を置く事業者での新築やリフォームに対して、一定の割合で補助をする「マイホーム取得補助制度」のようなものを創設してはどうか。安来市独自の固定資産税の減免措置を加えた制度の創設を含め、今後の定住施策について考えを伺う。

**答弁** 住宅を新築、又は購入され、市内に定住する後押しになるような制度の必要性は認識している。民間賃貸住宅家賃助成制度の対象者へのアンケート結果等も参考にしながら、固定資産税減免措置制度も含め、今後の定住施策について検討したい。



日本共産党  
原田貴与子

### 介護利用者、事業所、職員を助ける支援を

**質問** 介護事業所の経営はコロナ禍でさらに大変になっている。厚生労働省は事業所経営の助けとするために、介護報酬の特例措置を設けている。事業所の利用状況、制度の内容と利用者負担額はどうか。

**答弁** 安来市の事業所では20事業所のうち13事業所が利用している。新型コロナウイルス感染症対策をしているデイサービス事業所では、通常の通所介護では実際に利用した時間の請求で算定されているが、特例の算定では、月に一回だけ、2区分上位の介護報酬に算定することができるとするものである。要介護3の利用者が、通所介護サービス利用の場合、3時間以上4時間未満の利用者負担額は一回472円であるが、2区分上の5時間以上6時間未満にすると負担額は765円であり、利用者負担増になるのは一ヶ月29

3円となる。

**質問** 介護サービス利用者は事業所に同意したら利用料の差額分を払わなければならない。これに対して、利用者からは戸惑いの声があり、事業所も心苦しいといっている。専門家は国が支払うべきと指摘している。長野県飯田市は利用者負担にせず、市が負担して事業所支援をしている。日本弁護士会連合会は「介護報酬の特例措置における利用者負担の撤回と公費による財政的支援の拡充」を求める会長声明を出している。利用者に使ってもらえないサービスの負担分が求められていることは理不尽だ。国に公費を求め、国がしなければ市が支援をすべきである。

**答弁** 国も見直しを検討していることから、適切な介護サービスが継続できるよう臨時的な取り扱いの情報収集に努める。

**質問** 新型コロナウイルス緊急包括支援交付金を利用して介護職員にPCR検査を。

**答弁** 医師の判断の下、島根県指定の医療機関で実施されている。市独自の検査や補助は考えていない。仮に施設職員、入所者の感染が疑われる場合は率先して検査を受けさせる。



政進クラブ  
岩崎 勉

**農業政策等と**

**令和3年度当初予算について**

**質問** 新型コロナウイルス感染症の第3波が懸念される中、農業経営者に対する本市独自の対策を打ち出す考えの有無について伺う。

**答弁** 市としては今のところ、独自の支援策は考えていない。

今後の社会、経済状況によっては、影響が出ることも考えられるので、国・県・JAなども情報交換を行い、国等の支援策だけでは不足するような場合は、独自支援策についても検討をしていきたいと考えている。

**質問** 特定地域づくり事業協同組合制度に対する本市の取組状況等について伺う。

**答弁** この12月に事業所を募集し、令和3年2月に組合設立、4月に派遣事業が開始できるよう調整を進めている。また、組合の設立・運営に對して必要な財政支援については、

本12月議会の一般会計補正予算に計上している。

**質問** 令和3年度当初予算の編成方針あるいは考え方について伺う。

**答弁** 日本経済の状況と国の動向、地方財政の見通しなどを踏まえ、引き続き第2次安来市総合計画の将来像「人が集い、未来を拓くものづくりと文化のまち」の実現に向けた施策及び、安来市まち・ひと・しごと創生総合戦略による人口減少対策と安来市の創生を目的とした施策への取り組みを重点的かつ着実に推進することとしている。また、新型コロナウイルス感染症の対応についても、安心・安全な市民生活と市内の産業振興に向け、取り組むこととしている。

**質問** 市長は、選挙戦で「私は、令和5年度末に基金残高30億円を目指す」と明言されたが、その見通しについて伺う。

**答弁** 毎年度の決算剰余金の一部を基金に積み立てるなど、新たに財政運営上のルールを定めて、不測の事態に備え財政調整基金を中心とする基金残高の確保を図り、目標としている30億円を目指したいと考えている。



日本共産党  
向田 聡

**河川の浚渫対策について**

**質問** 災害が多発化・大規模化している中で、河川管理の重要性は非常に増してきている。護岸や堤防の除草は出水時期に行われているのは見かけるが、河川に繁茂する立木の除去がなかなか進んでおらず、市民から河川の氾濫の心配の声をよく聞く。今年度緊急浚渫推進事業債を活用した緊急浚渫推進事業が創設された。県・安来市ではどのような計画がなされており、浚渫を推進されようとしているのか伺う。

**答弁** 災害に強いまちづくりを進める観点から、令和2年度から創設された緊急浚渫推進事業債を活用し、令和6年度にかけて堆積土砂の掘削や河川内の伐採を計画的に進めていく。令和2年度は吉田地区の鳴滝川、広瀬地区の金井谷川、十年畑地区の原田川において事業を行い、次年度以降については、自治会要望等を考慮しながら優先順位を検討し、河川

流路の健全化を進めていく考えである。

また、県では令和元年から令和5年度までの年次計画として第6期単河川リフレッシュ事業を策定し、計画的に堆積土砂の除去、樹木伐採を行っている。事業計画以外の箇所での堆積土砂の除去、樹木伐採についても河川点検や地元要望を踏まえ、必要と判断する場合は局所的な対応も行っている。

**質問** 県管理河川減災対策協議会も2年前に設立され、取組が進められているが、市はどのようなことを行っているのか伺う。

**答弁** 水害リスク情報等をできるだけ早く市民に周知するための一つとして、市から出した要望を踏まえて伯太川に水位計の増設設置を行ってもらっている。その他、浚渫などの治水環境対策についても要望しているところである。

**その他の質問事項**

コロナ対策（季節性インフルエンザ予防接種への助成・学習支援員の確保状況・国からの支援の増額）と児童虐待を防ぐための取組について質問を行った。

## やすぎ未来トーク 報告

日 時：令和2年11月29日（日）  
10:00～12:30  
場 所：伯太町 上十年畑 常盤公民館  
参 加 者：坂原自治会 15名  
（男性11名 女性4名）  
参加議員：石倉 刻夷  
岩崎 勉  
三島 静夫



### 主な質問・意見等（抜粋）

#### 《坂原自治会の現状》

◆買い物、草刈り、墓掃除を助け合いながら行っているものの、活動の中心的な方も80歳が近くなり、これからの活動に大きな不安を抱えている。

#### 《3つの話題で意見交換を行った》

- ◆交通手段の確保・改善策として、イエローバスの時刻表の改善や高齢者の自宅玄関先までのタクシー活用。
- ◆医療の課題として、診療所の継続やドクターヘリのヘリポートの確保及び隣県医療機関との連携と交通手段の確保。
- ◆災害対策として、河川周辺の環境整備をはじめ、大雨時には道路が川となり避難所へ行くことができなかつたり、行政ラインから外れた防災士に対しては、市から何の連絡も指導もない現状。

#### 《その他の意見》

◆様々な事業の申請書等の書き方が分からない。行政用語や添付書類の用意など事務処理が我々高齢者ではできない。集落指導員等を活用した事務処理の支援をお願いしたい。

今回は自治会の皆様との語らいでした。参加者アンケートでは「このような小集落での会議が毎年開かれることをお願いしたい」「未来トークのような行政と住民の意思疎通が出来る機会をつくる必要があると思った」「交通に関して考えてほしい」などの貴重なご意見をいただきました。申込、参加していただいた坂原自治会の皆様、ありがとうございました。



# 12月定例会議 委員会現地視察報告



安来市古川町  
安来節演芸館

**総務企画**委員会  
令和2年12月7日(月)



安来市安来町  
安来駅観光交流プラザ

道の駅あらエッサ、安来駅観光交流プラザ、安来節演芸館の市内3箇所の観光施設で現地視察を行い、新型コロナウイルス感染症対策について説明を受けた。



安来市伯太町東母里  
伯太一般廃棄物最終処分場

**文教福祉**委員会  
令和2年12月8日(火)



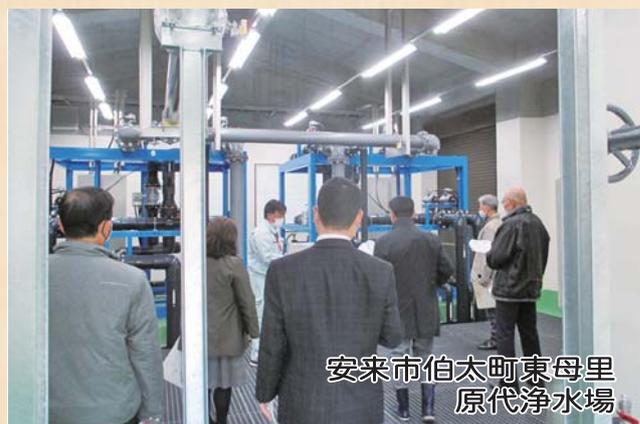
安来市広瀬町下山佐  
広瀬一般廃棄物最終処分場

広瀬、伯太の最終処分場の現状と今後のごみ処理計画について現地視察を行い、説明を受けた。



**地域振興**委員会  
令和2年12月9日(水)

安来市島田町  
(仮称) 島田トンネル



安来市伯太町東母里  
原代浄水場

昨年度完成し、今年度から稼動している原代浄水場ろ過施設、そして現在工事が行われている(仮称)島田トンネル、浦ヶ部雨水渠の現地視察を行い、工事の内容や進捗状況について説明を受けた。

## 編集後記

謹んで  
新春のお慶びを  
申し上げます。

密を避けるなどの掛け声により、今まで当たり前のように行われていた各種行事が地域から姿を消しました。各種会合や行事が再び催され、市内各所から歓声が沸き上がる日を早く取り戻せるよう祈るばかりです。

議会だよりも、より一層紙面の充実を図って参りますので、皆様の声をお寄せいただきますようお願いいたします。

広報広聴委員会  
岩崎 勉

スマホアプリ  
「マチイロ」に  
やすぎ市議会だより  
配信中!

